

国立アスンシオン大学工学部技術イノベーションセンター(旧「パラグアイ電気通信学園」)
Centro de Innovación Tecnológica
Facultad de Ingeniería de la Universidad Nacional de Asunción (CITEC/FIUNA)
Ex Instituto Paraguayo de Telecomunicaciones(IPT)

1. 概要

住所: Campo Vía esq. Puerto Pinasco, Isla Bogado – Luque
(595-021) 646 167

URL: http://www.ing.una.py/?page_id=785

管轄機関: 国立アスンシオン大学工学部

主な業務内容: 産業及び工業セクターの人材需要を満たすため、工業技術を有する有能な人材を育成する高等教育機関である。

2. 現状/歴史

IPT は当初、電気通信公社(ANTELCO)の技術職員訓練機関として 1958 年にアスンシオン市内に設立された後、技術者に対する需要が高まるにつれ、電子工学・電気通信関係の技術者を養成する最高の教育機関となった。訓練生徒の増加、技術の高度化が進む一方で、施設の不備、老朽化、狭小化が進んだことから、1993 年に日本の無償資金協力によって新たな施設がルケ市に建設された。その後、「地方分権化された公共機関の再編成、中央行政機関の改革と近代化」により、電気通信公社(ANTELCO)が株式会社となった翌年の 2002 年、IPT は政令 No.16.855 によって国立アスンシオン大学工学部に移管された。

3. 過去の協力実績

3.1. 電気通信学園拡充計画 I 期/II 期 (無償資金協力)

E/N 交換文書署名: I 期 1991 年 8 月 20 日; II 期 1992 年 9 月 7 日

協力内容: パラグアイ政府は、電子工学分野の人材需要が増加する中、老朽化且つ狭小化が進んでいる同校の既存施設では電気通信技術者の養成に対応できない状況から、首都アスンシオン市近郊のルケ市にある ANTELCO の短波受信所敷地内に、新たな施設の建設及び関連機材を供与することとした。

主要施設

I 期: 実習棟、工業高校棟、受水槽

II 期: 電子工学学院棟、訓練棟、図書館・管理棟、ガレージ、実習機材(電子工学実験機材、情報処理教育用コンピューター、理科実験用機材、印刷機器、語学研修 LL 装置、デジタル技術関連機材、試験台、製図台、家具類等)

協力金額: I 期 428 百万円; II 期 949 百万円

3.2. 電気通信訓練センター計画 (技術協力プロジェクト)

協力期間: 1992 年 04 月 01 日~1997 年 03 月 31 日 (延長終了日: 1999 年 03 月 31 日)

内容: パラグアイの公共電気通信サービスの向上を目的に、デジタル技術を応用できる電気通信技術

者の養成コースを実施した。具体的には、カリキュラム、テキストや教材等、訓練指導体系の確立と訓練指導者の能力向上を図るものであった。

協力金額:991 百万円

3.3. 上記以外の協力

- 1) 電気通信訓練センターフォローアップ協力(1997年～1999年)
- 2) IPT電気通信学園建設計画フォローアップ協力(2005年)
- 3) ボランティア派遣:人数・分野

区分	職種	派遣期間		配属先
一般隊員	無線通信機	1984/7/25	1986/7/24	パラグアイ電気通信学園
一般隊員	電話線路	1984/7/25	1986/7/24	パラグアイ電気通信学園
一般隊員	電話交換機	1984/7/25	1986/7/24	パラグアイ電気通信学園
一般隊員	無線通信機	1986/12/17	1988/12/16	パラグアイ電気通信学園
シニア海外	総合・地域開発計画	2004/4/5	2006/4/4	パラグアイ電気通信学園
シニア海外	放送	2004/4/5	2006/4/4	パラグアイ電気通信学園
シニア海外	電気通信	2004/4/5	2006/4/4	パラグアイ電気通信学園
シニア海外	電気通信	2004/4/5	2006/4/4	パラグアイ電気通信学園
シニア海外	電気通信	2005/4/6	2007/4/5	パラグアイ電気通信学園
シニア海外	放送	2006/3/28	2008/3/27	国立アスンシオン大学工学部 技術イノベーションセンター